

平成25年度教育研究活動報告書

氏名	西嶋 亜美	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士（文学）	職位	講師
専門分野	西洋美術史（19世紀フランス美術）		

I 教育活動	
本年度担当科目	
学部	美学講義（通年） 西洋美術史講義（通年） 博物館入門（博物館学概論）講義（前期） 博物館実習 事前事後学習（通年）
大学院	芸術学（美学）特講（通年） 美術史特講（西洋）（通年）

II 研究活動	
これまでの主な研究業績（5件まで）	
<p>（1）〈共著書〉西嶋亜美「19世紀中葉のパリで描かれた同時代の恋愛イメージクールベ作《田園の恋人》とワルツの図像―」、伊藤公雄・杉本淑彦編『ヴィジュアル・カルチャーの中の親密圏』京大出版会、2014年以降刊行予定*（査読あり）。</p>	
<p>（2）〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワ作『墓地のハムレットとホレーシオ』諸作品をめぐる一演劇の豊饒さから絵画独自の効果へ―」、『美術史』第172冊、2012年、173-191頁（査読あり）</p>	
<p>（3）〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワによる『挿絵』連作《ファウスト》―複数の着想源と技法革新の統合の試み―」、『京都美学美術史学』第9号、2010年、141-172頁（査読あり）</p>	
<p>（4）〈学会発表〉Ami NISHIJIMA “L’emploi des théories littéraires et artistiques dans la représentation du monde antique autour de Delacroix.”, Ecole de Printemps, 10e édition Art et Savoir, 2012/5/18, Centre Allemand de l’ Histoire de l’ Art, Paris.</p>	
<p>（5）〈学会発表〉西嶋亜美「ウジェーヌ・ドラクロワによるバイロン作『邪宗徒』諸作品の再考」日仏美術学会第130回例会（平成26年2月8日、於東京日仏会館）50分。</p>	

本年度を含む過去3年間の研究業績	
〈著書〉 〈展覧会〉 〈論文〉 〈翻訳〉 〈学会発表〉 〈学術表彰〉 〈その他〉	
<p>（1）〈共著書〉西嶋亜美「19世紀中葉のパリで描かれた同時代の恋愛イメージクールベ作《田園の恋人》とワルツの図像―」、伊藤公雄・杉本淑彦編『ヴィジュアル・カルチャーの中の親密圏』京大出版会、2014年以降刊行予定*（査読あり）。</p>	
<p>（2）〈学会発表〉西嶋亜美「ウジェーヌ・ドラクロワによるバイロン作『邪宗徒』諸作品の再考」日仏美術学会第130回例会（平成26年2月8日、於東京日仏会館）50分。</p>	
<p>（3）〈学会発表〉Ami NISHIJIMA “L’emploi des théories littéraires et artistiques dans la représentation du monde antique autour de Delacroix.”, Ecole de Printemps, 10e édition Art et Savoir, 2012/5/18, Centre Allemand de l’ Histoire de l’ Art, Paris.</p>	
<p>（4）〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワ作『墓地のハムレットとホレーシオ』諸作品をめぐる一演劇の豊饒さから絵画独自の効果へ―」、『美術史』第172冊、2012年、173-191頁（査読あり）</p>	
<p>（5）〈学会発表〉西嶋亜美「ドラクロワ作《ヴェネツィア総督マリノ・ファリエロの処刑》―絵画と演劇における史実の再現の様相―」、2011年度京都美学美術史学研究会（2011年12月17日、於京都大学文学部）、60分間（レジュメ審査なし）</p>	

現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）ウジェーヌ・ドラクロワの歴史画・物語画における文学と絵画、演劇の関係に関する研究	
（2）19世紀英仏の画家によるオリエント旅行の実態と制作上の意義の研究	

研究テーマの進捗状況	<p>（1）については、まずは①鹿島美術財団の助成を受けてのドラクロワの《トラヤヌス帝の正義》に関する研究を遂行中であり、2014年5月に提出する報告書の執筆に向けたまとめの段階に入っている。また、②2014年2月に日仏会館で発表を行った『邪宗徒』諸作品に関する研究については、発表で指摘された点を中心に調査を継続して、2014年秋をめどに論文としてまとめる予定である。これらを活字にすることが出来れば、博士論文の準備は仕上げの段階に入る。一方、（2）のオリエント旅行に関する研究は、現在着手したばかりのところ、上の②に挙げたバイロンの『邪宗徒』の関連イメージ調査などを通じ、ドラクロワの周辺から調査を行っている。</p>
------------	---

学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）	
所属学会・所属団体 役職等	
美術史学会、美学会、日仏美術学会	